

平成19年度 第5回松山地域協議会会議録（概要）

日 時 平成20年2月25日（月） 13:30～16:36

会 場 松嶺公民館 講堂

◎出席者

1号委員 齋藤 勝 富樫 茂 寒河江 久也 小田 和夫 齋藤 尚
今田 充代 佐藤 ゆき子
2号委員 山中 俊 土田 迪子 齊藤 薫
3号委員 佐藤 洋子 木村 美津枝

松山総合支所 支所長 後藤 吉史 地域振興課長 新館 篤
市民福祉課長 大場 昭一 建設課長 川田 進
産業課長 難波 富也 教育振興室長 須貝 彰
地域振興課 課長補佐兼地域振興係長 阿部 みえ
主任 佐藤 伸 主事 乙坂 哲也

◎欠席者

1号委員 阿部 茂 須田 良 遠田 聡

◎傍聴人 1名

◎議事日程

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 会議録署名委員の選出
- 4 報告事項
 - (1) 平成20年度地域づくり予算（案）について
 - (2) 松山タウンセンター整備構想の集約について
 - (3) 歴史公園再整備検討会の設立について
 - (4) 平成19年度松山地域座談会の開催結果について
 - (5) コミュニティ振興組織について
 - (6) その他
- 5 意見交換
 - (1) 地域振興について
 - (2) その他
- 6 その他
- 7 閉 会

1 開会・・・進行を務める地域振興課長が開会する。

2 あいさつ

(会長)

今回で5回目の地域協議会となる。2月19日に副会長、支所長と私の3名で今年度の地域協議会の内容について市長に報告してきた。開口一番に市長から「傍聴は何人くらい来たのか。」と聞かれ、3名くらいと答えた。また、この協議会の内容を地域の方々にはどのように伝えているかということも聞かれ、その都度「地域協議会だより」に集約し、市広報と一緒に配布している旨答えた。30分の予定時間を大幅にオーバーし1時間も話してきたが、これからは議論する焦点を考えながら進めていかなければならないと思った。

皆さんは各界各層、各団体から推薦あるいは公募されて委員になられているので、様々な意見をいただければありがたい。

(支所長)

2月29日から酒田市議会が始まる。前半は平成19年度、後半が平成20年度予算について審議することになっている。2月29日から3月25日までの議会日程となる。

地域の方々に開かれた地域協議会を市長が期待している。地域協議会だよりを発行するなどして地域の方々に報告をしているが、更に地域と身近な地域協議会となるようにしていかなければならないと考えている。

3 議長及び議事録署名委員選出

○地域振興課長 会議録署名人の選出について協議会施行規則第5条により委員1名を選出する今回の会議録署名人を木村美津枝委員にお願いしたい。

これより会議の議長を協議会設置条例第6条第2項により山中会長にお願いする。

4 報告事項

- (1) 平成20年度地域づくり予算(案)について・・・地域振興課長説明。
- (2) 松山タウンセンター整備構想の集約について・・・地域振興課長説明。
- (3) 歴史公園再整備検討会の設立について・・・教育振興室長説明。
- (4) 平成19年度松山地域座談会の開催結果について・・・地域振興課長説明。
- (5) コミュニティ振興組織について・・・地域振興課長説明
- (6) その他・・・地域振興課長説明
 - ①酒田市広報松山版(地域版)の廃止について
 - ②行政組織機構の見直しについて

○山中会長 意見等ある方は発言していただきたい。

○小田委員 内容の確認だが、地域づくり予算の中の花いっぱい事業について、道路敷地美化のため実施自治会への花苗提供とあるが、片町地内に限られているのか。

- 地域振興課長 片町地内に限ったものではない。平成20年度は平成19年度の事業内容に加え1自治会2万円ぐらいで要望のある自治会への花苗の提供も行っていく。
- 小田委員 酒田市の美化サポーター支援制度と重複しているところもあるのではないかと。
- 建設課長 美化サポーター支援制度では、花苗を提供するのではなくて花の種の提供である。
- 齋藤（勝）委員 白ヶ沢の役員会において花苗の提供が年々少なくなってきたので、交通島に芝生でも植えようかと話していた。大沼新田でも交通島が2箇所空いている状態である。花苗を少なくして植えると、花と花の間から草が生えてくる。相沢の交通島と同じような形になるのであれば、従来どおり県に管理していただくことも一つの方法だと考える。去年は花苗の不足部分を老人クラブの会費で買ったりするなど老人クラブの負担も大きい。交通島を測量してどれくらいの花苗でいっぱいになるか考えて花苗を準備してほしい。
- 地域振興課長 交通島のある自治会への支援の仕方についていろいろな意見もあるようなので、現場を確認し全体を調整しながら工面していきたい。
- 支所長 基本的には、国県道であるので、相沢の交通島などのような整備をするよりも効果のある形に見直すことも一つの方法である。相沢の場合、花苗が少ないということであれば、あそこは県管理なので植えない方向である。皆さんの意見を聞きながら調整していきたい。
- 小田委員 酒田市で推進している美化サポーター支援制度の登録は年々増えているのか。
- 建設課長 おそらく登録数は横ばいであると思う。
- 教育振興室長 松山地域では、自治会として5から6件、それから建設業者や中学校、子供会などが登録されているようである。
- 齋藤（尚）委員 青少年国内外交流事業について、子供たちだけの交流だけで終わっていいのかと思っている。この地域にとって何らかの効果がでるように仕掛けていけないのか。前の会議でも桐生市と歴史のつながりがあるので、交流すればこの地域にメリットがあるのではないかと話した。私の推測だが、鹿児島は同じ松山という地名だけで交流を決めていたのではないかと。それと、地域座談会でも質問したが、社会教育関係はまだ中央公民館と支所で行う考えでいるのか。
- 教育振興室長 鹿児島県松山との交流については、旧松山町と地名が同じということで交流が始まった。この事業は、子供たちが自分の住んでいるところから離れて広い視野を持ってもらうという趣旨で行っている事業である。今のところ子供たちの行き来の交流で終わっていて、それ以上の交流までには結びついていない。経済的、文化的な交流を考えた場合、大きな事業になっていくわけだが、今後、検討していきたい。
- 地域振興課長 社会教育関係については、酒田市の中央公民館で3支所を含めて全市を網羅していきたいというのが基本的な考え方である。地域・家庭・社会という3つのキーワードで全市民的に行う事業と2事業程度のメニューを選択し取り組む事業の2つを想定して会議を進めている。基本的には公民館からの職員の引き上げになるため、中央公民館に担当の職員を配置し、社会教育の推進に当たっていくことで検討をしているところである。
- 齋藤（尚）委員 地区公民館をなくし、中央公民館で全市を網羅していくと言う話だが、絵に描いた餅というより絵に書かない餅という感じにしかならないと思う。公民館の代替を中央公民館で行うことは不可能であると確信している。

- 寒河江委員 松山にも中央公民館を置くということではなかったのか。
- 地域振興課長 そういうことではない。平田、八幡には中央公民館の名称は残っているが、平田も八幡も中央公民館には市の職員はいない。

14:45 休憩

14:53 再開

5 意見交換

(1) 地域振興について

(2) その他

- 山中会長 他に報告事項について意見等が無いようならば、意見交換に移りたいと思う。意見交換だが、地域振興に限らず意見があればいただきたい。
- 齋藤（勝）委員 2月24日に南部地区の総会でも話になったが、消火栓が錆びているところが多くある。合併した当初から水を出して訓練することが禁止された。消火栓は開口しないままにしていると火災が起きた際、消火栓が使えないということも考えられる。やはり年1回は水を出して訓練できるように見直してもらいたい。また、貯水槽のフェンスが破れているところが見受けられる。消防団の幹部会議を定期的で開催しているということだったが、その中で話に出ているのか。消防団幹部は見回り点検をしているのか。
- 地域振興課長 消防施設の管理については、見回り点検も行っていて幹部は全て把握している。フェンス等の修繕箇所についても、市の方で把握しており計画的に修繕している。成沢の貯水槽についても今年度に修繕が完了した。時間はかかるかと思うが対応していく。座談会で出た蓋の件も警防課と協議している。
消火栓については水道との関係もあり規制している。平田や八幡からも同じ苦情が出ているようである。3月末までにはきちんとした回答が出せると思うのでもう少し待っていただきたい。
- 山中会長 字本町の場合、貯水槽が道路の真下にあるため除雪をするとどこにマンホールがあるのかわからなくなる。4年も前から要望しているが何ら回答も無い。また、消防団への後援会費を自治会で拠出しているが、地域と消防団の関係が希薄になってきているように思える。貯水槽だけは現地を見て対応していただきたい。
- 支所長 貯水槽の関係は、別の場所に移転してほしいということなのか。それとも管理体制をしっかりしてほしいということか。
- 山中会長 常に使える状態にしておいていただきたいということである。
- 支所長 齋藤勝委員の消火栓の件は、道具が無いということではなく、管理の不具合ということで解釈してよろしいか。
- 齋藤（勝）委員 そのとおりである。
- 富樫委員 消火栓設置に絡んで、ホースなどの器具は全部自治会で設置するというようになっていようだが、初期消火の重要性を考えると行政で揃えるものであって、自治会で全て揃える

というのはあまりにも酷ではないかと感じる。それともう一つ、自主防災組織が本当に必要なのかも疑問である。日中は高齢者しか残っていないためポンプを使うのは難しい。自主防災組織の義務的な設置は必要なのか。

- 支所長 防災計画における考え方では、実際に震災が発生した場合、行政の手が地域全体に回らない可能性がある。自主防災組織についてはいろいろ課題があるようなので皆さんから意見をいただき、自衛消防の整合性を図りながら防災計画の変更も含め進めていきたいと思う。
- 山中会長 宇町自治会の自主防災組織で年1回ぐらいは消火栓を活用しての水出し訓練を実施できるように検討していただきたい。
- 齋藤（勝）委員 水を100、200リットル使ったとしても訓練ということであれば、商店等への影響はないと思う。水出し訓練をしていないので、住民は不安がっている。年2回ぐらいは消火栓の開閉をできるようにしていただきたい。
- 小田委員 昨年11月に発生した片町南部での火災の際も消火栓が機能しなかったようである。また、消防車の到着が遅くなったこともあり一人の方が亡くなった。宇町の訓練の時も消防署の人が消火栓を開けるところを見ただけだった。水道の有収率が下がったのは消防に使っていたからだと思っていたが違うようである。防災計画についても3年に1度、地域に合わせた形で見直しをした方が良いと思う。
- 木村委員 3年前、落雷により自宅で火災が起きた。自分で消火器を使って初期消火をしたため間もなく消えたが、その時はパニックになり隣の家の方から消防署へ連絡してもらった。いざというときの連絡網や対処法を知らない人が多いのではないと思う。
- 山中会長 混線する場合があると聞くが119番でいいのではないか。
- 富樫委員 自主防災組織を7年前に立ち上げたが、名簿に亡くなった人の名前が現在も載っている状況である。喚起をする意味でも行政がモデルを作り自主防災組織の見直しを進めていただきたい。

山寺コミュニティでは現在、火災報知機と消火器の共同購入を行っている。火災報知機は400台くらいの注文があった。山寺コミュニティとして助成金を出して支援している。
- 山中会長 自治会が消火栓の工具の管理をどこまでしなければならないのか。筒先2本が入っているので鍵などの対応も必要との話もあった。
- 支所長 自主防災組織がきちんと機能するための手立てをこちらでも整理していくということでもよろしいか。次回の会議時にでも報告したい。
- 富樫委員 平成20年度の地域づくり予算の報告を受けた。市の基本計画は進められていくわけだが、地域づくりのためのプランは何を基本に進められていくのか。
- 地域振興課長 松山地域ではタウンセンターエリアを設定しながら、地域のにぎわいを創出していこうという考えで進めている。眺海の森と歴史公園の再整備なども含め支所内で検討し本所と協議をしていく。町民プール跡地の利活用についても部門ごとの協議が始まっている。眺海の森整備検討委員会も平成20年度中に立ち上げていこうという考えもある。松山地域においても総合計画を基本とし地域づくりを進めていく。
- 富樫委員 市の基本計画は「整備する」、「検討する」など抽象的な表現が多くてわかりにくい。松山地域が進んでいく方向性も見えないように思う。

今回のタウンセンター整備構想では保育園の跡地利用などを検討することも必要だと思う。地域における計画を検討するプロジェクトチームを作れば良いのではないかと。事務局が考えた意見が全てではないと考えるので住民からの意見を聞くために是非プロジェクトチームを支所内で立ち上げていただきたい。

○山中会長 建設産業課の統合の件についても支所から本所に意見を言うようであれば、この地域がおざなりになってしまう恐れがある。地域づくり予算も昨年度と同様のものが並んでいると感じた。松山地域の発展を考える場合に、歴史公園の再整備等もあるが、これからは商工観光を考えていかなければ、このまちが寂れていく一方である。本所と支所の権限の枠について知りたい。

○支所長 総合計画の重点プロジェクトで方向性が示されている。観光物産課を中心にまとめている観光基本計画、都市計画課を中心にまとめている景観計画もあるが縦割りで進められていることは確かである。予算要求は総合計画の中のどこに関連しているか確認しながら進められる。業務を行う上では本所と支所の一本化が必要であり、一つの所管課で処理していく方向が理想となる。今後は支所には窓口サービスと地域づくり部門の2つくらいしか残らないであろうと考えている。農林サイドは支所にウェイトがあるように思うが建設関係では日常の点検業務に限られてきている。そのような中で支所として何が出来るのかを考えていかなければならない。地域版の計画ということに関しては、私自身取り組まなければならない問題だと思っている。ただ、予算の関係で厳しいところもある。事業計画を作り予算要求をしていくのが酒田市のやり方である。地域協議会が地域版の計画を作る場になればいいと考えている。本所の大きな流れの中で、大きなボールを投げられているのはコミュニティであるというのは確かなことで、そのボールを受ける組織がきちんと出来ているかが大切である。

○富樫委員 縦割りということはわかるが、住民がこうしたいということを描いたプロジェクトにしてほしい。予算の関係ではない。お金の話をしてしまうと先に進まない。

コミュニティについては少し違う分野と思っている。

○小田委員 コミュニティがあつてこそ地域が発展すると考えている。行政はその中身をまったく示していないと思う。公民館がなくなってもコミュニティでやっていけるという中身があれば理解を得られるのではないかと。コミュニティとはどういう組織でどうやって作っていくか最初から協議していく必要がある。タウンセンターについて、平田にタウンセンターができているが、整備計画の過程を踏まないでここに落としてしまったので、理解できない感じがある。事業を進める場合は夢などを網羅して前向きな構想を立てるべきだ。

○支所長 全体計画があつてというのは、そのとおりである。ただ、今回の場合、保育所を平成21年度に整備したいということが前提にあったことを理解してほしい。また、松山地域の全体計画に入る前に眺海の森や歴史公園をどうしようかという整備の検討に入らざるを得ないということも理解してほしい。

○富樫委員 現実にはそうだろうと思っている。しかし何かに結びつけることは必要だ。地域のコミュニティがしっかりしていないといけないのは小田委員の意見と同じである。ただ、地域という範囲が違っているのかと思う。

○支所長 各地区公民館を中心にコミュニティを作ろうということで進んでいるが、その具体性が

示されていないのは事実である。

○齋藤（尚）委員 地域づくり予算は当初、この地域協議会で検討していくものだと思っていた。いろいろなプランがあるが、大枠だけでもここで検討することはできないものだろうか。

今回の会議は少し進歩したと感じている。報告事項があったので、やっと投げかけたものが返ってきた感じがする。今後も簡単な報告で良いので報告していくべきだと思う。2月10日に山寺で市長と語り合う機会があり、そのとき市長から地域協議会の内容が届いていないという話を聞いた。そんな話しがあり得るのかと思った。

以前、下水道工事の関係で山寺地内の家屋調査が行われた。家屋の傾きなどを調査したが、その後何の連絡もないようである。あれは、何の調査だったのか。

○佐藤主任 その調査は特殊な工法を行うための事前の調査であり、工事の影響による家屋等の損壊を確認するためのものなので、住民への事後報告はしなかった。

○齋藤（勝）委員 座談会でも話した南部公民館の施設の関係だが、雨漏りする箇所が何箇所かある。話は通してあるが、進捗状況はどうか。

○教育振興室長 南部公民館からの要望については20年度予算で対応いただきたいということを生涯学習課に連絡している。生涯学習課の方で優先順位をつけて対応していくことになると思う。緊急を有するものについては補正で対応していきたい。

○齋藤（勝）委員 雨漏りについては公民館を移転するという考えがないのであれば早急に対応すべきである。女子トイレや事務室も雨漏りする。住民が集まる場所でもあり、緊急を有するものだと思うので早急に対応していただきたい。

○教育振興室長 応急処置については、生涯学習課と協議して進めていきたい。

○寒河江委員 松山体育館で行事を行ったが、トイレの水は出っ放しになっており、雨漏りもした。早急に修繕が必要な箇所が多々ある。

○教育振興室長 12月補正で松山体育館の玄関のタイルとドアについては修繕費を確保した。雪解けの状態を見ながら対応していきたい。トイレの状況は現場を確認する。

○齋藤（薫）委員 中学校と小学校の統合について噂が飛び交っている。どの話しが本当なのか不明確なので、行政でどう考えているのかお聞きしたい。

○教育振興室長 八幡、平田では統合の動きが固まりつつある。松山地域の小中学校については統合の情報は入っていないが今後予想される。平成20年度に酒田市の学区編制の基本方針についての説明会を開催し、酒田市の考え方を示していきたい。

○支所長 学区編成の基本方針には松山は入っていない。その学区編制の方針は次回会議で報告したい。

○佐藤（洋）委員 給食についてだが、私はグループで地産地消を推進しようということで各学校に新鮮な野菜を届けている。平田の学校は給食センターが給食を作っているということだったが、松山もその方向なのか。

○支所長 市としては、大筋の方針で給食センター方式にしていく方向で考えているようだが、松山はまだそこまで進んでいない。

○佐藤（洋）委員 国としては地産地消を推進する姿勢だが、その方針は国の姿勢に反するものではないかと思う。

- 支所長 今回の話しは次回の会議まで保留にさせていただきたいが、地産地消については学校給食に適用する場合、課題が残るのも事実である。酒田市としては米飯給食など、他市と比べると地産地消に関しては取り組んでいる地域だと思う。
- 佐藤（ゆ）委員 防災組織について、行政からもっと指導してほしいと考えていたが、先ほど、防災計画を見直していくという答弁を受けたので同感していたところである。私の住んでいる地域では、日中、高齢者だけの世帯が多いので、防災組織について行政が地域と手を携えながら進めていただきたい。
- 地域振興課長 阪神淡路大震災以降、旧町では自主防災組織の立ち上げに取り組んできた。現状を見てみると、当時の人がそのまま名簿に載っている状態である。議会でも毎回話題になるが、地域でも見直しが行われていないのが実情である。平成20年度の区長会に諮り、マニュアルを作った上で共通理解をしながら取り組むようにしていきたいと考えている。
- 今田委員 山寺の地域座談会でも聞いたが、震災時に避難場所の核となる建物について松嶺公民館と健康福祉センターしか残らないと聞いた。実際、大きな震災が起きたらどこに避難したらよいか。
- 地域振興課長 市でも耐震診断を行っているが、この地域にまだ回ってきていない。昨年末に出された防災マニュアルを修正していく動きがある。
- 齋藤（尚）委員 震災時の松山地域における備蓄はどうなっているか。
- 地域振興課長 水と食糧は若干ある。簡易トイレも支所にある。
- 支所長 基本的に震災時には商品提供について市内の商店と協定を結んでいる。
- 市民福祉課長 生協、コープなど全国に店舗があるところと協定を結んでいる。
- 齋藤（薫）委員 里仁館の防球ネットについて、景観上良くないと思う。使用しないのであれば撤去していただけないものか。
- 教育振興室長 今現在、里仁館でも必要性について議論しているところである。
- 小田委員 4月1日に酒田ふれあい商工会ということで平田タウンセンター内に事務所を置き発足する。松山支所は2人体制になる。
- 土田委員 アメリカ派遣については、この協議会で来年度も継続して事業実施してほしいという意見が出たために継続になったものと思う。なぜ継続になったのかと松山地区以外の人から聞かれたときに明確に答えられるようなものがないといけないと思う。
- 教育振興室長 事業評価を問われたときにしっかりと回答できるように準備はしている。
- 山中会長 今日は、次回まで回答や考え方を持ち越す事項もあり、大変積極的な会議であったと思う。今日はこれまでとし、次回もよろしく願います。

7 閉会・・・進行の地域振興課長が閉会する。